

平成29年度 あまっこ部会 活動報告

* あまっこ部会長 妹尾 眞里

1

あまっこ部会の役割

- * 教育、福祉、保健、医療の関係者が情報を共有し、社会資源の充実や家族支援、地域支援などの課題について協議しています。
- * 尼崎に住むこどもが正しく理解され、その人らしく生き生きと暮らすことに役立つよう、サポートファイル「あまっこファイル」の作成や普及を行っています。

2

今年度の取り組み

- * 子どもをとりまく環境の中で、様々な社会資源について、情報を収集し発信する
- * 社会資源につながる仕組みについて整理し案内する
- * 教育との連携、不登校の問題、次のライフステージに立つ時の、切れ目のない支援のつながり方について検討していく
- * あまっこファイルの活用や評価をしながら情報提供していく

3

あまっこ部会開催の状況

- * 月1回、11回開催。今年度は具体的な作業部会を多く行った。
- * 全員での作業として、インフォーマルな資源を整理
- * グループに分かれ あまっこファイル紹介のチラシづくり
障害児通所支援の一覧作りのためのアンケート作成
障害児通所支援の案内リーフレットの作成作業を行った
- * あまっこファイル書き方教室と相談会
- * あまっこ部会のある午前中に相談会を開催
- * 年3回教室を開催

4

切れ目のない支援の つながり方について

- * 「つながり方」を整理していく
- * 当事者と支援者の顔が見えるネットワークづくり
- * 枠組みを超えたつながりを考える

5

枠組みを超えたつながり

- * 街にある社会資源で合理的配慮があると、つながっていない人へのネットワークの入り口になるかも
- * まずは、みんなが実際使っている資源、知っている資源を集めてみよう！
- * あまっこ部会で協議している情報は、今後、子どもの育ち支援センターへも連携し、発信していこう！

6

ネットワークを広げる

- * インフォーマルな社会資源一覧
 - * こどもの訪問看護
 - * 音楽療法
 - * 心理相談
 - * セラピーいろいろ
 - * 発達相談
 - * 発達支援

7

ネットワークを広げる

- * インフォーマルな社会資源一覧
 - * 教育コンサルテーション
 - * 個別セラピー
 - * 集団セラピー
 - * 遊べる場所、居場所
 - * 子育てサークル
 - * 預かり、ベビーシッター

8

ネットワークを広げる

- * インフォーマルな社会資源一覧
 - * 保護者支援
 - * 学習支援
 - * 不登校の子どもの相談会 放課後教室
 - * 親の会
 - * 運動・体操教室

などが見つかりました。

9

ネットワークを広げる

- * インフォーマルな社会資源
 - * あまっこ部会ホームページへ掲載してよいか、アンケートを行う
 - * 掲載内容を確認していく

10

社会資源の活用について

- * 障害児通所支援を使う仕組みが分かりにくい
- * リーフレットを作成し、わかりやすく案内する。
- * 案内がひとり歩きをしてしまうリスクについて再考した。

11

社会資源の活用について

- * 障害児通所支援を使う仕組みが分かりにくい
- * 子どもにとって必要な支援が何かのポイントを伝えることは必要。
- * 通所支援が担う役割を正しく伝える。
- * 小児科医、教育相談、保健、障害福祉の窓口などが手渡す。
- * 通所支援の利用が具体化している方に案内する。

12

社会資源の活用について

- * 利用のプロセスと必要な手続き
- * サービスの内容
- * 障害児相談支援の役割

について、わかりやすく端的に説明できるよう、再検討していく。

新しく始まるサービスも検討していく

13

障害福祉、児童福祉、教育の 制度のはざまに生じている課題について

- * 行き場がなくなっている子どもの社会参加の方法
- * 将来の見通しを持つために、子ども時代に必要なことは何か
- * 社会資源について、しごと部会と一緒に考えてみては

14

あまのしごと部会とあまっこ部会 合同会議

- * まずは、共通の課題を出し合い整理する。
- * あまっこ部会からは...
 - * 学習支援を求める保護者→教育の環境に不安あり？
 - * 大人になったら見えるもの、どんな将来が待っているか
 - * 子どもたちはどう感じ、どう思っているのか など

15

あまのしごと部会とあまっこ部会 合同会議

- * 5班に分かれグループディスカッション
 - * 15歳～18歳の障害者で支援やサービスにつながりにくく、課題に感じておられる例を挙げる
 - * どんなところに課題があるか
 - * 尼崎市内で地区別の差はあるか。あるとすれば、具体例や理由について
 - * この課題について取り組むうえで重要な点、何かアイデアについて
 - * 現在、出された課題について分析中

16

子どもの思いをどのように あまっこ部会に反映させるか

- * 保護者は、子どもの代弁者という視点で参加をしている
- * 一方、親と子どもの思いが違うということにも配慮は必要である。
- * 子どもの意見をどのように取り入れていくかを考えていく必要はある。

17

子どもの思いをどのように あまっこ部会に反映させるか

- * 当事者が子ども部会に参加している他市の状況を調査してみよう
- * 子どもと一緒にあまっこファイルを作る機会を作ろう
...今後の取り組み

18

あまっこファイルについて

- * 反省：告知が不十分であった
- * 新たな提案
 - * 受け取る側（学校、保育所、事業所など）へのレクチャー
 - * 希望する場への出前講座

19

あまっこファイル書き方相談会・ 書き方教室の状況

	1回	2回	3回	4回	5回
書き方相談会	6月19日	9月11日	11月20日	2月19日	3月19日
参加人数	1名	3名	2名	4名	4名
書き方教室	6月30日	7月18日			
参加人数	6名	1名			

20

あまっこファイル相談会参加者の 意見

- * あまっこファイルについて
- * 相談会について

21

あまっこファイルについて

- * 繰り返し記入していくと使いやすさの意味が分かってくると思う。
- * 支援学級の子が全員書いて出すようにしたら先生がきちんと読んでくれそう。
- * 初めて関わる方に知ってもらうにはいいと思う。
- * 子どものことを客観的に見て書くことがとても難しい。

22

あまっこファイルについて

- * 学校からこの情報がほしいなどの意見も聞きたい。
- * 発達障害の子の親として初心者。子どもにも質問しながら記入し、作成してまたみてもらいたい。
- * 今まで書いたことがなかったが、こどものことを改めて考える事ができてよかった。
- * 人へ伝える時のポイントなども教えてもらってよかった。

23

相談会について

- * とても親身になって相談してもらった。
- * 自分で気づかない部分はもう一度家で見直してみよう。
- * 気軽に相談できていい。
- * 参加するまではとても難しく考えていましたが、母からの言葉で伝えることが大切なんだと思いました。
- * こどものことで悩んでいる母親の情報を知りたい。

24

相談会について

- * 書き方の勉強になった。
- * とても丁寧で説明がわかりやすく、初めてで緊張していたが充実した時間だった。
- * わかりにくいところ、文章の記入の仕方も丁寧に教えて下さり、とてもいい取り組みだと思います。
- * 書いていて、これで伝わるのか？理解してもらえるのか？と思っていたので、読んでもらってアドバイスをもらえたのでよかった。
- * 書き直すときに注意するポイントがよくわかった。

25